

媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2011年1月27日号
タイトル	「遺伝子健康食品素材 特集」		
<div data-bbox="1369 748 1417 1211" style="text-align: center;"> <p>ニュートリション・アクト</p> </div> <div data-bbox="1273 763 1342 1317" style="text-align: center;"> <h1>DNA修復効果を確認</h1> </div> <div data-bbox="1201 837 1246 1317" style="text-align: center;"> <p>キャッツクロー抽出物「AC-11」</p> </div> <div data-bbox="973 698 1134 931"> <p>健康食品・化粧品でのEM製造などを行うニュートリション・アクト（本社東京、石川雅仁CEO、☎03-5475-7313）が提案する健康食品・化粧品素材「AC-11」は、DNAを修復するという新しい機能を持つことが確認されており、アンチエイジング素材として注目を集めている。</p> </div> <div data-bbox="218 698 676 931"> <p>人体の設計図ともいわれるDNAは活性酸素や紫外線により1日最大50万回損傷を受けており、DNA損傷の蓄積が老化や疾病の原因になるといわれている。損傷したDNAは体内で修復酵素系によって元通りに修復され、有害反応を防いでいるが、加齢とともに、修復酵素産生が衰え、修復が間に合わなくなる。</p> </div> <div data-bbox="268 963 1142 1193"> <p>DNA研究の権威であるロナルド・ペロ博士は、修復酵素の活性化をサポートする成分を探すべく、30年にわたって植物探査を続けた。その結果、南米インディアンに2000年以上にわたって薬用植物として使用されてきた「キャッツクロー」のCAEsという成分にDNAの修復促進作用があることを突き止め、「AC-11」を開発した。</p> </div> <div data-bbox="268 1225 1149 1453"> <p>DNA修復が促進されることでさまざまな派生的効果が生まれる。美容分野では、経口摂取または塗布することで、シミ、シワ、たるみ、くすみ、炎症、光老化、きめなどの改善につながるが期待されており、各種試験で効果のエビデンスを取得している。</p> </div> <div data-bbox="268 1487 1150 1715"> <p>3次元皮膚モデルに紫外線を照射した試験では、AC-11添加群で、照射24時間後の損傷DNAの修復効果が確認された。AC-11を添加することでサンバーン細胞（紫外線による細胞壊死）数を95%抑制することができるとも分かった。紫外線だけでなく、酸化ストレス、放射線といった原因によるDNA損傷についても修復促進作用を持つことを各種試験で確認している。</p> </div> <div data-bbox="268 1747 1150 1975"> <p>生きたヒトの皮膚組織片を用いてヒト皮膚への影響を評価できる「EX-VIVO試験」で、経口摂取時の肌への影響を調べたところ、①UV照射によるDNA損傷を修復する効果を持つ②柔軟で弾力のあるⅢ型コラーゲンの量が10日間で対照群に比べ1.5倍に増加する——といった結果が確認された。</p> </div>			